

## アイ・ビービューティカレッジ 学校関係者評価委員会議事録

本校講堂にて 2021 年 2 月 25 日 14 : 00 開催

学校職員：泉理事長・井手校長・理容科野中主事・美容科香田主事・広報担当野中

業界代表：株式会社 Poziravi 代表 松隈直也様 株式会社美 ALL 代表 荒木美智子様

地域代表：伊勢町自治会長 澤正昭様

教育機関代表：佐賀女子高等学校教諭 佐藤由美子様

理事長の挨拶の後、井手学校長より学校関係者評価委員会の趣旨の説明が行われ、奇譚ない意見をいただけるようお願いがあった。

その後、評価項目ごとに自己評価を報告し質疑応答が行われ適切かどうか判断をいただいた。

## 1.学校の教育目標

理容と美容の組合が共同で設立した専門学校として、理美容業界で長く働ける人材の育成を目標とする。

## 2.2020 年度に定めた重点的に取り組む課題

### A. 個人情報等のセキュリティ対策

- ・ 個人情報保護規定を改定しデジタルデータの管理も強化。
- ・ 4 月以降に教職員の理解を深めるため研修を行う。
- ・ 施錠できるラックを設置しサーバーを物理的に保護。

### B. 人事査定制度の整備

- ・ 新たに査定評価シートを作成し 2021 年度より運用する。

### C. 接客力（共感力・話題力）を高める体系的なカリキュラムの策定

- ・ コミュニケーション・マナーの授業を 50 時間から 70 時間に増やし、効果を当該授業外に於いても確認する体制としました。また、実務実習先にも評価をお願いし、その評価を個別に面談でフィードバックしています。評価方法やフィードバック方法については、今後もブラッシュアップしていきます。

### D. コンテスト実績の向上

- ・ コロナ禍の影響で全てのコンテストが中止となり、2020 年度は実績がありません。
- ・ 学生への影響を考慮し、代替として学内コンテストを 7 月に実施しました

### E. 学外生活指導について

- ・ ホームルーム等での全体指導と直接指導を実施しています。授業が終わればオフタイムという意識ではなく、いつも周りから見られていることを意識し、スタイリストを目指す学生として恥ずかしくない行動を求めています。

### F. 防災・感染症について規定の改正

- ・ 新型コロナ感染症拡大防止の行動指針とチェックリストを作成し実施している。
- ・ 規定等については新型コロナ感染症の状況を見ながら 2021 年度に確定する。
- ・ 避難訓練、消火訓練は 12 月に実施

### G. ボランティアなどの社会貢献活動

- ・ コロナ禍により 2020 年度は活動を自粛しています。

### 3.評価項目の達成および取り組み状況

※5段階評価・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

1. 教育理念・目的等	自己評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は明確か	5
1-3 社会のニーズを踏まえた将来像を抱いているか	4
1-1.理容と美容の組合が共同で設置した学校であるため、業界の現状を踏まえて、現場で必要とされ、長く続けられる人材の育成を業界とともに取り組んでいる。 1-2.少人数制の特性を生かし、学生一人ひとりの到達レベル把握し、確実に国家資格を取得できるよう指導している。その上で「就職のその先」を起点にしたバックキャスト思考で少しでも早くスタイリストになるための教育を行なっている。 1-3.訪問施術や福祉理美容の増加が見込まれるため、ニーズに柔軟に応えられるよう理容と美容の2つの国家資格の取得を推進している。	

#### 実績の確認

1-1.理美容業界で長く働ける人材の育成という教育目標が実現できているか検証

離職率 2016年卒業生 7% 2017年卒業生 10% 2018年卒業生（調査中）

1-2.国家資格と就職

2020年国家資格 理容美容とも合格率 100% 業界就職 100%

1-3.Wライセンスの促進

Wライセンス比率 2019年度入学 58.1% 2020年入学者の 52.9%

#### ■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- 実績は素晴らしいと思います。是非、県内雇用を推進していきたい。
- 離職率が低いのが素晴らしいと思う。
- 県内就職が60~70%もあり地方都市としては良い結果だと思う。
- 佐賀女子校も県内就職を勧めている。授業でそういう話もしてもらいたい。
- 離職率の低さ、国家試験合格率、業界就職率は評価できる。Wライセンスの比率は学生にも学校にもメリットがあるので60%を超えるよう頑張ってもらいたい。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

2. 学校運営	自己評価
2-1 目的に沿った運営方針は定められているか	4
2-2 方針に沿った事業計画は定められているか	4
2-3 意思決定機能は明確か、機能しているか	3
2-4 人事制度等は整備されているか	3
2-5 情報公開は適切に行われているか	4
2-6 情報システム化など業務の効率化が図られているか	3
2-1.学生募集力と教育力は連動しており2つの視点から毎年計画を定めている。 2-2.学生募集計画をもとに中期事業計画を策定している。 2-3.職員数が少ないこともあり意思決定プロセスが多少不明瞭になる場合がある。 2-4.歴史が長く古い制度が継承されており改善すべき点もある。 2-5.ホームページでの積極的な情報公開を行なっている。 2-6.データベースの導入など情報システムの改善を進めている。	

### 実績の確認

- 2-4.外部の意見を参考にしながら新たに査定評価シートを作成し2021年度から評価を行い、2022年度人事考査に反映させる予定。
- 2-5.2019年度以降ホームページで情報公開を行なっている。
- 2-6.2019年入学生から学籍および成績の管理をデータベースに移行し、効率化とともに情報管理の厳格化に努めている。

### 課題

- 2-2.コロナ禍の影響で2021年度募集計画が未達のため修正が必要。

### ■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- 努力しているのが窺えます。
- 特に問題は感じない佐賀女子高校の職員からも指摘されることはない。
- 先生のモチベーションが学生の成長にダイレクトに影響するので人事評価システムなど早期に導入すべきと思う。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

3. 教育活動	自己評価
3-1 各科目の到達レベルは明確に定められているか	4
3-2 業界と連携しカリキュラムの改善を行っているか	4
3-3 体系的なインターンシップ制度はあるか	5
3-4 成績評価・進級卒業判定の基準は明確か	4
3-5 資格取得に関する指導体制は十分か	5
3-6 優れた教員を確保しているか	4
3-7 教職員の研修などが適切に行われているか	4
3-1.国家資格を確実に取得のための到達レベルは明確に示されている 3-2.提携サロン制度により業界の声を反映したカリキュラム改善に取り組んでいる。 3-3.サロンでの実務実習時間をタイミングや目的を踏まえ体系的に増加させている。 3-4.国家資格取得が最低限必要なため成績判定等は明確にある。 3-5.選択コースによる民間資格取得も含め指導体制は機能している。 3-6.非常勤講師を含めて優れた教員の確保努力をしている。 3-7.理美容師養成施設として要件を満たす教員の育成を行なっている。	

**課題** 接客力を高めるためにどのような指導や経験が必要になるか研究する。

2020 年度対応済み

- ・各科目を通して理美容師に必要な接客力（共感力・話題力）を高める。
- ・コミュニケーション・マナーの授業を 50 時間から 70 時間に増加。
- ・サロン実習先の評価を個別にフィードバックする。

2021 年度検討課題

- ・個人の集客力を高めることがサロンにとっても重要になる。
- ・シェアサロンで働くフリースタイリストなどの増加も想定される点から情報発信力を高めるための SNS 教育を検討する。
- ・リモート授業がどこまで可能かどうかの検討

**■学校関係者の評価・意見 [ 適切 4・不適切 0 ]**

- コロナ禍のサロン実習について学校はどのように対策したか。
- コミュニケーション・マナーの授業を 20 時間増やすことは、共感力・話題力を高めることにつながり大変評価できます。○ローカルサロンでは挨拶電話対応などコミュニケーションが大切です。20 時間増加は良いと思います。
- コロナ禍での実習指導は大変ですが、適切に指導されていると思います。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

4.学修成果	自己評価
4-1 就職率の向上は図られているか	5
4-2 資格取得率の向上は図られているか	5
4-3 退学率の低減が図られているか	4
4-4 卒業生の状況を把握しているか	4

4-1.就職率は業界就職 100%継続中。  
4-2.国家資格取得については毎年数名程度がボーダーラインにいるが、個別指導を行うなど、合格に向けた指導を行なっている。  
4-3.経済的理由など止むを得ない場合もあるが、カウンセリングや個別指導など、退学者をなくす活動を行なっている。  
4-4.就職後にもサロン訪問などを行い卒業生の状況は把握している。

#### 実績の確認

- 4-1.学生一人ひとりに対して個性や希望を元にサロンを紹介することで、就職率 100%だけでなく理美容師を長く続ける活動を行なっている。
- 4-2.2020 年の国家資格は理美容ともに 100%合格。
- 4-3.2020 年入学生の退学は 1 名
- 4-4.2020 年卒業生からサロンでの業務状況を定期的に報告してもらいブログで発信しているため、卒業生全員の状況を把握している。

#### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切 4・不適切 0 ]

- 就職率 100%国家資格 100%は学生募集にも大いに期待できる実績。また、退学率の低下にもつながる。
- 卒業生情報の把握について詳しく聞きたい。
- 卒業生の把握については、就職斡旋の条件としてサロンに報告をお願いする方法もあるのではないか。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

5.学生支援	自己評価
5-1 生活指導に対する体制は整備されているか	4
5-2 保護者と適切に連携しているか	4
5-3 卒業生の支援体制はあるか	4
5-4 高校等との連携による職業教育の取り組みはあるか	3
5-1.生活指導については担任を中心に全学的にサポートしている。 5-2.保護者とは定期的な成績の通知などのほか必要に応じて連携している。 5-3.就職先を訪ね状況を把握するなど卒業生に対する積極的な支援を行なっている。 5-4.佐賀女子高校美容コースやサポート校への講師派遣を行なっている。	

### 課題

5-1～2.コロナ禍において、アルバイトを含む学外での行動に対してどこまで指導すべきか。

○罹患者が発生した場合に支援すべきことの検討

学習の遅れなどの支援

学生を誹謗中傷からどのように守るか

### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切 4・不適切 0 ]

- 学生との信頼感を大切にして保護者との連絡も密にして欲しい。
- 新型コロナに関わる学生指導は具体的に考えるべきことがあると思う。
- 高校との連携は大変良い。国家試験前の講師派遣調整など熱意が伝わる。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

6.教育環境	自己評価
6-1 施設設備は十分に整備されているか	3
6-2 防災に対する体制は整備されているか	3
6-3 感染症に対する体制は整備されているか	4
6-1.学習に必要な設備は整備されているが、少人数制を維持しながら定員の充足を図るために計画的な整備計画が必要。 6-2.避難訓練を定期的実施している。	

#### 実績の確認

6-2.12月に避難訓練を実施。毎年定期的実施予定。

6-3.新型コロナ感染症拡大防止の行動指針とチェックリストを作成し実施している。

規定等については新型コロナ感染症の状況を見ながら2021年度に確定する。

#### ■学校関係者の評価・意見 [適切4・不適切0]

- 駐車場が狭い。
- 避難訓練などコロナ禍の中努力していることは評価できる。



・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

7.学生の受け入れ募集	自己評価
7-1 学生募集は適切に行われているか	4
7-2 学納金は適正・妥当に設定されているか	4
7-3 入試は公平・公正に行われているか	5
7-4 高校等への情報提供は適切に行われているか	4
7-1.学生募集は進路検討者の立場に立ち適正かつ適切に行なっている。 7-2.学納金は道具材料費も含め適切に設定している。 7-3.アドミッションポリシーを定め公平・公正な入試を行なっている。 7-4.理美容師の業務実態を始め、高校への情報提供を適切に行なっている。	

### 実績の確認

7-1.募集定員は未達状況。

教育目標の達成や教育レベル向上のためにも学生募集が重要なため、外部の意見を取り入れ随時改善を続けていく。

### 課題

- ・ コロナ禍における学生募集ではオンライン活用のノウハウが必要になる。

### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切 3・不適切 0・未記入 1 ]

- 学生募集に関わる努力をされていると感じる。
- 学納金をはじめサポートが充実しているのは本当に良い。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

8.財務	自己評価
8-1 経営基盤は安定しているか	3
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4
8-3 会計監査は適切に行われているか	4
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4
8-1.中長期的な経営基盤の安定には、学生数の確保が重要。徐々に入学者は増えているが引き続き努力が必要。 8-2.教育の質を向上するための収支計画が課題。 8-3.会計監査は外部により適切に行なっている。 8-4.財務情報はホームページで公開している。	

#### 実績の確認

8-1.経営基盤の安定には募集定員の充足が必要だが現状では未達なため、地方の小規模校に即した学生募集活動に引き続き尽力する。

#### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切 4・不適切 0 ]

- 特に問題を感じない
- 経営基盤は学生数確保が最も重要であり学生募集の努力がさらに必要です。
- 教育内容や実績を踏まえ授業料をもう少し上げてもいいのではないかと。教職員の給与アップなども改善をつつけるべきでは。

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

9.法令等の遵守	自己評価
9-1 設置基準等は遵守されているか	4
9-2 個人情報保護の対策は適切か	4
9-3 自己評価の実施と改善を行っているか	4
9-4 自己評価結果を公表しているか	5
9-1.専修学校設置基準および理美容師養成施設としての基準を遵守している。 9-2.個人情報の取り扱いに関しては規則を強化し研修も行う。 9-3.自己評価を実施し2019年度より学校関係者評価を行なっている。 9-4.自己評価結果はホームページで公開している。	

#### 実績の確認

9-2.個人情報保護規定を改定。情報漏洩の8割は内部の故意や過失にあるため4月から随時研修を行う予定。

データベースサーバーは施錠できるラックを設置し物理的に保護済み。

#### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切4・不適切0 ]

- 自己評価など適切に公開されており評価します。
- サロン実習生との日常会話でどこまでプライバシーを聞いて良いか判断が難しい。学校と認識を共有する必要があるのではないか？

・5 = 大変適切 ・4 = 適切 ・3 = ほぼ適切 ・2 = やや不適切 ・1 = 不適切

10.社会貢献・地域貢献	自己評価
10-1 学校の特徴を生かした社会貢献を行なっているか	3
10-2 地域に対する教育訓練等を行なっているか	3
10-3 学生のボランティア活動を奨励しているか	3
1. 老人ホームや保育園などの施設訪問は行なっているが計画的ではない。 2. 公共職業訓練の受託を積極的に行なっているが利用者は数名程度。 3. 高校の文化祭支援などのボランティア活動があれば随時参加を推奨している。	

## 課題

### ■学校関係者の評価・意見 [ 適切 3・不適切 0・未記入 1 ]

- 社会貢献は学校の特色をアピールできるポイントになると思います。
- コロナ禍で活動自粛だったことは理解できます。次年度は佐賀女子高校の文化祭支援など協力をお願いしたい。

### ■アイ・ビービューティカレッジの学校運営について総合的なご意見をお願いします。

- 少人数制で一人ひとりへの指導が手厚く良い教育をされているといつも感心します。先生も熱意のある方ばかりで自信を持って勧められる学校です。
- 先生と学生さんが本音で語り合っているのが伝わります。コミュニケーションがアイビーの最大の武器と思います。
- 学校運営に熱心に取り組んでいることがよくわかりました。学校の特色を生かし、県外からも入学者が増えるよう希望します。